



国連ユースボランティアプログラム

United Nations Volunteers in Mozambique

国旗に金糸が入っているのは世界でもモザンビークだけ!!

異文化コミュニケーション学部生として伝えたい!

異国で働く上での心得!



国連ユースボランティアプログラムとは?

「国連ボランティア計画 (UNV) はボランティアの動員を含むボランティアリズムの推進を通じて持続可能な人間開発を地球規模で支援する国連機関。」(UNV公式HPより)

日本では外務省とUNVの連携により、毎年十数名の大学生を発展途上国に送り、現地の国連機関で5ヶ月間ボランティアとして貢献するプログラムが行われている。



1. まずは現地の言語で **あいづつ・感謝・数字** を言えるように!

2. 一緒に **ランチ** する。

30分で生まれる絆はそこに



見慣れた味が美味! モザンビークの伝統料理「マタバ」。マタバの葉をココナツで煮たもの。

3. **今につながる歴史** を音調べてファンがある時に積極的に質問する。現在の社会情勢を理解していると、仕事も一層おもしろくなる。

モザンビークは昔、貿易の中間地帯として隣国に人たらしめられた歴史がある。現在は農作物の輸出はほぼ全てを前年からの借金で賄っている。

中津川で買ったSDGサッカーボール。アトマートで売られている。

モザンビークはどんな国?

アフリカ大陸南部に位置するトロピカルな国。旧ポルトガル領であり、現在公用語はポルトガル語。国土面積は日本の約2倍。AIDS/HIVの感染者が多い世界最貧国の一つであるが、近年若い経済成長を遂げている。



日本発マイト
1. 成田→香港
香港→ヨハネスブルグ
ヨハネスブルグ→マプト
2. 成田→ドーハ
(ドバイ経由)
ドーハ→マプト
3. 成田→アジズババ
アジズババ→マプト
最短は23H!



4. **ゲーム・自然・スポーツ・アート** でつながる。

言葉が分からなくてできないことはあっても、言葉が分からないからこそ楽しめるものもある!

5. **SNS** でつながる。

※もちろん信用できる相手だけ。モはやSNSなしでは生きにくい世の中。情報共有だけでなく、相手の投稿を観察して異文化理解。



私がモザンビークでUNVをやりたいと思った理由:

1. 大学生で国連オフィスで働くチャンス!
2. アフリカは1人じゃたかたか行けない。
3. 生身の人間と関わる仕事がしたい。
ニ広報・アドボカシー
4. 自分の限界に挑戦したい!

私はモザンビークで何をしていたのか?

1. UNVモザンビークオフィスの**広報官**として活動。
2. 任期は**5ヶ月**。2016年9月~2017年2月の間に200人規模のイベントを2回実施。
3. 国連のスタッフとして他の国連機関や大使館、JICA、学校、アーティストやミュージシャンと関わり、途上国の現状を知る。

6. **怒ったら負け!** 時間にルズな人は腹立つ前に計算して計画・約束をする。

7. **ここまで来たなら異文化エキスパート!** 冠婚葬祭に参加させてもらい、より深く地域の文化について理解する。

約90人分の贈り物巨大パステルケーキ



クリスマス日はパーティーの日!! 地元のお祭りと一緒に参加し楽しんでいます。

政府レベルのミーティングも定期的に始まることは嬉しい。